

ことしの施政方針

昭和五十五年度の市政の方向を決める「三月定期市議会」が三月十二日から十七日間の日程で開かれ、冒頭、小笠原市長は次のような「五十五年度施政方針」を述べました。

はじめに

昭和五十五年度は、いわゆる激動の八十年代に入った年であり、南国市は昨年二十周年の行事を終え二十一年目にふみ込んだ年であり、私にとっても第二期目の新年を迎えたいわけであり、任の重いことをひとしお深く感じている次第です。

我国刻下の政治経済事情をみますと、国内的にも国際的にも多くの難問の解決を迫られているように見受けられます。

例えば、エネルギー問題は我々の日常生活、生産活動を切り放せない深い関係にあります。これにまつわる外貨事情一つをとりあげても、昨年当初累積する黒字外貨をどうするか問題になっていました。最近では近い将来輸入するための外貨不足に悩む時代が来るのではないかと識者によって論議されています。

これらの諸事情は国の諸政策に

いにおいて、赤字の軽減をはかる予定ですが、なお、残る両公社の赤字については、市の責任において除けに解消していく計画です。

空港

空港については、難航した用地買収が九〇％以上に進捗し、本体の着工も時間の問題となりつつあります。しかし、本件については今後多くの問題を残しています。用排水の処理、騒音対策、道路その他周辺の整備、空域制限による吾国山の一部切りとりなどであり、切戸の放水路、黒潮ライン、広域農道など、基幹となる周辺の事業は特に早期に着工を要望するところですが、議員各位の一層のご支援をいただきたくお願い申し上げます。

同和

同和問題については、特別措置法の期限が次第に迫りつつあるにもかかわらず、多くの積残の事業をかかえている現状です。同和対策審議会の答申を基礎として、重要度の高いもの、実行可能なものに重点をおき、できる限りの業績をあげることにとめたいと念願しています。

特に、生活環境の改善の一つと

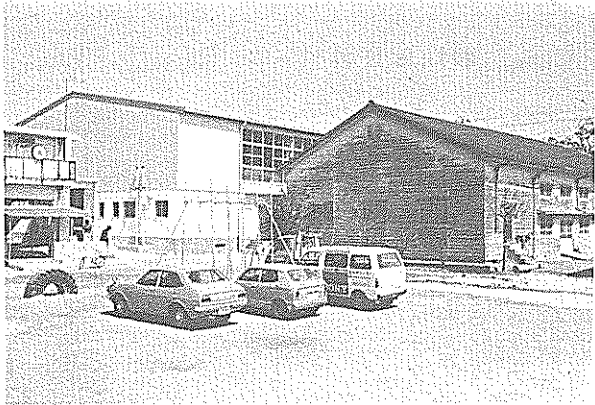
して不良住宅、過密住宅の解消につとめ、これと深い関係のあるがけ崩れ、雨水、下排水の処理について、従来やもすれば消極的になり勝ちであった日常生活に密着した諸対策に取組みたいと思えます。

社会福祉の充実や経済生活の確立などへの努力はもちろん継続しなければなりません。長期の対策として、教育水準の向上への努力も欠くことのできない重要な施策として力点をおかなければなりません。五十五年度では、小集落地区改良事業を核として諸制度の導入をはかり、対策の促進に資したいと念願しています。

農業・建設

教育・福祉・し尿

本市の農業は、減反に次ぐ減反で農業経営に大きな制約をうけています。施設園芸についても、燃料の値上がりなどで経営者は大きな不安を感じている現状にあります。作目の転換に弾力性ありと見られていた南国市への減反の要求はなお続くかと思われませんが、過度の減反要求には反発する反面、太陽熱、地質などを有利に活用し、やむを得ない作目転換にも弾力的



日章小学校に待望の体育館が完成

卒業式を一周後に控えた三月十五日、市立日章小学校（幾井幸雄校長）児童四百一名に新しい体育館が完成し、盛大に落成式が行われました。

この日は、小笠原市長、島内体育館建築委員会々々長（市議会議員）西内・大川両県議ら約四十名が出席して「神事」が行われたあと、教職員、児童、PTAの役員など関係者多数が出席して式典が行われました。



日章小学校には体育館がなかったため、雨天の日には隣の地区公民館のホールを使用して体育の授業を行っていましたが、狭いことや老朽化していることなどから体育の授業に支障をきたしていたた

市の使命の一つです。その一つは、しばしば言われているように、当南国市には保育所、幼稚園から大学にいたるまでそろっているのに、普通高校がないのはいかにも残念です。市民のご要望に応じてこの設置について今後も関係当局への働きかけを続けたいと思います。

市民のご要望に応じて対処してまいります。最後に、懸案となっていた処理問題ですが、五十四年度末までに恒久的な処理施設の位置決定について目途がたつたことは申しわけなく、残念です。引き続き努力を続けていきます。ご迷惑をおかけしている黒道地区の方々には、なおしばらくのご猶余をお願いしています。

推進しよう

二輪車の昼間の点灯運動

三月二十一日の県民交通安全の日を機会に県下五十三市町村が一斉に「昼間の二輪車の点灯運動を強力に推進」しています。

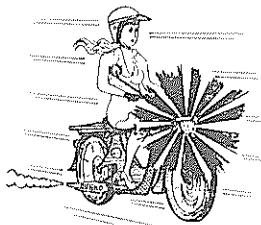
先進地の熊本県では、二輪車の昼間点灯によって六十割の二輪車による交通事故防止の効果をあげています。

南国市の昨年度の二輪車による交通事故は、全事故の七十割発生しています。

昼間の二輪車の点灯は、他の車両や歩行者に車の接近を知らずと同時に二輪車の事故防止を図ることを目的とします。

市民のみなさんご協力をお願いします。

【公営交通係】



市民憲章

- わたしたちの郷土南国市は、土佐文化の発祥地、そしてまた、清新な生産都市であります。この誇りのうえにたち、さらに一大飛躍発展をとげるために、次の信条を守りましょう。
- ☆文化財と自然を保護し、新しい文化のかおり高い歴史のまちを築きましょう。
- ☆青い空、清い海、緑の山野、そして豊かな太陽のふりそそぐ、健康で明るいまちにいたしましょう。
- ☆川は市民の顔、清くて豊かな流れをつくりましょう。
- ☆第三日曜日は家庭の日、全戸笑顔で子供を守り育てましょう。
- ☆老人は市民の宝、小さい親切運動と福祉の豊かなまちにいたしましょう。
- ☆三悪を追放し、交通事故のない住みよいまちにいたしましょう。